

知られざる港北の宝

港北公会堂緞帳の由来と美術的価値を知る

(ステージ幕)

港北公会堂緞帳<陽に萌ゆる丘>(1978年制作)は、「型絵染」の無形文化財保持者(人間国宝)芹沢銈介が下絵を描き、京都の川島織物が織り上げた作品です。

図案には鶴見川が描かれていることをご存知でしょうか。知られざる緞帳制作の由来を緞帳下絵、江戸時代の絵図の展示と講演によりご紹介します。また、芹沢銈介型絵染作品の展示や講演、DVD上映を通じて作家の魅力をお伝えします。

型絵染ワークショップもお楽しみください。

プログラム(11:00~16:00)

グッズ販売など(ロビー)はI部及びII部の休憩時間に行います。

I部

11:00~12:00 型絵染ワークショップ(ロビー)

11:00~12:30 展示(ホール)

II部

12:30 はじめに

12:40 DVD「芹沢銈介の美の世界」上映

休憩(15分)

13:30 講演「染色家・芹沢銈介の人と仕事」

▶村上豊隆氏

休憩(20分)

14:50 講演「下絵の元になった鶴見川流域絵図」

▶平井誠二氏

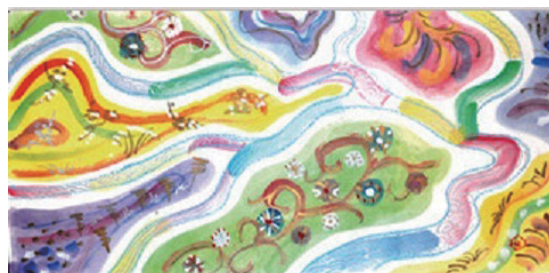
15:20 講演「港北の情熱、緞帳の下絵はここにある」

▶田邊陵光氏

16:00 終了 ※時間は前後する場合がありますのでご了承ください。



港北公会堂緞帳



緞帳下絵図案

下絵1点はイベントにて初公開!

※緞帳下絵図案は全部で4点あるのですが、日吉の森庭園美術館にて常設展示されているのはそのうちの3点で、残る1点は初公開となります。

日吉の森庭園美術館

横浜市港北区下田町3-10-34 TEL 045-561-3214

<http://hiyoshinomori.com/>

人間国宝 芹沢銈介と緞帳図案作製

1895年 静岡市に生まれる

1956年 「型絵染」で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される

1968年 大阪フェスティバルホール緞帳図案「御船渡」作製

1976年 文化功労者となる

1978年 静岡市民文化会館中ホール緞帳図案「静岡市歌」
横浜市港北公会堂緞帳図案「陽に萌ゆる丘」作製

1981年 静岡市立芹沢銈介美術館開館

1984年 逝去(享年88歳)

※緞帳図案作製を主にプロフィールより抜粋したものです。

◆型絵染ワークショップ

型絵染の手法で和紙を染めて

グリーティングカードを作ります

講師:土屋直人氏<土屋染色工房・染色教室主宰>

国画会工芸部会務委員/朝日カルチャーセンター横浜型絵染教室/
横浜市立松風学園スーパーバイザー

◎11:00~12:00(10:45受付開始)

◎定員:当日先着10名

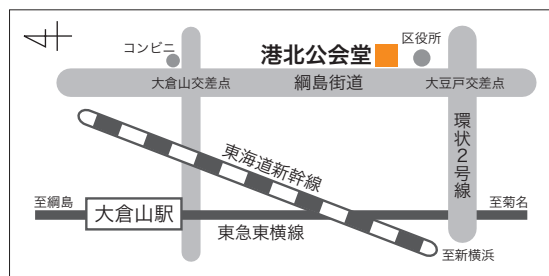
◎参加料:500円(材料代)

*小学3年生以下は保護者同伴、汚れても良い服装で。

【問合せ】芹沢銈介緞帳プロジェクト事務局

Eメール ask@serizawadoncho.info

子ども
大人も
どなたでも
参加可



港北公会堂:横浜市港北区大豆戸町26-1

■会場アクセス 東急東横線「大倉山駅」下車徒歩約7分

「芹沢銈介緞帳プロジェクト」

2019年4月に港北公会堂緞帳の由来と美術的価値を紹介する目的で集まった市民グループ。このイベントは「港北区地域のチカラ応援事業」の補助対象活動です。

WEBサイトをご参照ください。
<http://serizawadoncho.info/>

